



No.59

2025.11.25

レイカディア大学 サポートの会広報誌

シニアの学び舎

レイカディア大学だより 草津キャンパス

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています

第47期生の皆さん 入学おめでとうございます！



学長祝辞



新入生宣誓

ようやく秋の気配を感じることができるようになった10月2日、県立長寿社会福祉センター大教室にて滋賀県レイカディア大学47期生(草津キャンパス152名、彦根キャンパス51名、計203名)の入学式が行われました。

市川学長からは「入学おめでとうございます。しかし、皆さんはお客様ではなく、これまでの人生経験を活かしながら、ともに学ばん、ともに遊ばん、ともに生きなんを実践し、地域社会活動に貢献してほしい」というお祝いの言葉がありました。その後、県知事メッセージ、県議会副議長、レイカディア大学同窓会長、在学生の代表者の皆さんからご挨拶があり、最後に新入生宣誓が行われ、式は無事終了しました。

取材／宇野・大村・北川・木村直・竹脇・近松



式の開始前、事務局と在学生との打ち合わせ。

46期の各学科の代表が、新入生の案内などを担当し、円滑に運営できるようサポートしました。

基礎をしっかり学びたい

人との交流を増やしたいと思い入学しました。自宅の庭で園芸を楽しむ中で、基礎を学び直したいと考え、体系的な知識習得を目指します。



園芸学科A 手塚 洋子さん

親子3人で入学

レイ大卒のいとこに勧められ、私が妻を、妻が娘を誘って、親子3人で一緒に入学することになりました。大学で友達を作りたいです。



園芸学科B

縣 實・利祈子ご夫妻、田中 悦子さん

器の声を聴きたくて

お茶碗について深く学びたいです。茶道を教えており、いつもは使っている立場ですが、作る側のことも勉強して理解を深めたいと思いました。



陶芸学科 安井 忍さん

大学祭を見て

大学祭で学生の皆さんがすごく楽しそうにされていました。大学生活ではとても充実した時間を過ごせるのではないかと思います。入学したくなりました。



びわこ環境学科 片岡 幸恵さん

知識を深めたい

以前、文化講座を運営する会社にいました。学が喜びを伝える立場から、自分も学ぶ立場で、自ら体験し、知識を深めたいと考えました。



地域文化学科 小西 秀美さん

3回目ようやく入学

今年ダメだったら諦めようかと思っていました。介護職に関係していることから健康づくりに興味がありました。



健康づくり学科 林 律子さん



園芸学科A、園芸学科B、びわこ環境学科のみなさん



陶芸学科、地域文化学科、健康づくり学科のみなさん

45期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！

9月12日、滋賀県立文化産業交流会館(米原)において、第45期生の卒業証書授与式が行われました。草津キャンパス121名、彦根キャンパス56名の皆さんの新たな門出に、心よりお祝い申し上げます。

しばらくぶりの再会に、ざわついた雰囲気の間も、式が厳かに始めると、しんと静まり、こちらにも緊張が伝わって来ます。校歌斉唱に続き、卒業生(代表)に卒業証書が、また、行事などに活躍した学生(代表)に功労賞が授与されました。学長・来賓の式辞・祝辞、在学生代表による送辞(エール付き)、答辞、「仰げば尊し」斉唱、と式は進み、最後に全体とクラス別の記念撮影が行われました。



卒業証書授与

学長式辞

来賓祝辞

送辞

答辞



仰げば尊し斉唱

お話をうかがった卒業生は、「2年間は貴重な体験。色んな人と関わりができて、雪の日も琵琶湖大橋を渡って通ったことがよい思い出になりました。」「課題学習で、8人合計でびわ湖20周分歩きました。」「卒業後も何かしたいと思い、サポートの会・同窓会・えにし会の会、全部に入りましたよ。」「卒業後はクラスの仲間たちと一緒に44期の先輩たちの里山活動に合流します。今から楽しみです。」などと目を輝かせて話してくれました。



皆さん、一世一代のおめかしをして、仲間同士の写真撮影やら、談笑やら、何やら楽しそうです。式が終わりしばらくすると、それぞれ、クラスでのお別れ会へと向かって行かれました。

取材／北川・近松・中村・中山・丸山



レイカディア大学 事務局メンバー紹介

レイカディア大学の学生生活を送る上で欠かせない、事務局のメンバー・担当を、ひと言メッセージとともに紹介します。

いつも色々な場面でお話しさせていただいていることですが、卒業生と大学側が協働で運営し、なおかつ、これだけ愛校心を持っていただいているシニア大学は、全国どこにもありません。そういう意味でも、レイカディア大学は日本一だ！と、常に思っています。ここが皆さんにとって新たな人生のスタート地点となり、仲間づくりの拠点となるよう、事務局としても尽力いたしますので、引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

レイカディア振興課 川嶋 二郎

【田内 朗子さん】
主にレイカディア美術展とねりんピックの担当をしています。レイカディア大学の学生の皆さまとは、校外学習で一緒にさせていただく機会があります。皆さまが、有意義な学生生活を送るお手伝いができますように、がんばります。

【藤井 理江さん】
ねりんピックとレイカディア美術展を担当しております。レイカディア大学の皆さまとは校外学習引率でお世話になると思います。

【川口 智子さん】
入学式、地域活動体験学習、課題学習、サポートの会との連絡調整、びわこシニアネット、レイカディア通信を担当いたします。

【森 美穂さん】
レイカディア大学のカリキュラム編成、草津キャンパス選択講座の運営、大学祭、ニュースポーツ大会、在籍管理に関することを担当しております。在学生のみなさまが楽しく充実した学生生活を過ごしていただけるよう尽力してまいります。



【岡本 侑実さん】
主な担当業務は、基礎講座や学生募集、部会・クラブ活動との連絡調整です。レイカディア大学に関わりを持ってくださった方々に「関わってよかった」と思ってもらえる、より魅力的な大学づくりに貢献できるよう努めます。



学科紹介

46期 陶芸学科

寄稿

「陶芸」は、日々の暮らしに欠かせない「器づくり」でもあり、その歴史や芸術面も深く、営々と築き上げた文化の世界でもあります。そんな世界に憧れ、シニアになった今、新たな挑戦の場としてレイカディア大学の門をたたき、1年が経過しました。

「陶芸」の授業では、同期の皆さんの想いはそれぞれですが、先生の指導やサポートの会の先輩方のアドバイスもあり、経験の有無にかかわらず最初から和気あいあいに進み、さらに、個別の作品づくりでは、日頃見せない真剣な姿が印象的でした。

湯呑みに始まり、花入れ・干支・壺・抹茶碗・四角鉢・自由作陶等を粘土から形作り、素焼き・釉薬掛け・窯での焼き上げ工程を経て、仕上げます。

特に、初回、選んだ釉薬や窯の温度変化で実現した作品の劇的な変化に驚き、「陶芸が炎の芸術」と深く理解した瞬間でした。



← 授業風景(テーマ:壺づくり)

↓ 素焼き後、釉薬掛けの作業のための指導を受けています

◀ 窯(電気窯)から上がってきたばかりの作品



「ニュースポーツ大会」：揃いの「シャツ」

作品は、平和堂や南草津駅構内に展示される企画もあり、多くの人々に鑑賞してもらいましたが、「嬉し恥ずかし」の心境でした。大学祭では、作品展示・絵付け体験・バザーを担当し、ステージ演芸では「太極拳」の披露をしました。

校外学習では、信楽陶芸の森や窯業技術試験場を訪問し、陶芸の深さや広がりを実感出来ました。

46期陶芸学科 学科長 岩田 昌久



学科紹介

46期 園芸学科B

寄稿

46期園芸学科Bは、男性13名女性11名の合計24名です。花・野菜の育成や庭木の剪定等をより高度に学びたいと集まった人たちです。しかし、若い若者とは違い、人生の荒波を果敢に生きてこられた人生の達人たちです。強力な個性、静、動、など様々な人の集まりです。当初は運営に少しギクシャクしましたが、クラスの目標が決まれば豹変！それが7月の大学祭でした。



来場者と話はずみました



体験コーナーの様子

大学祭の様子です。

「ここ当分眠らず計画を練りに練った」「準備に率先して参加した」「数万枚の花のコレクションの中から厳選映像を選択！」「自然素材の可愛いメルヘン作品、作っている時が最高に幸せ・・・」「リース体験コーナー、教え方が上手い！」「手塩にかけた苗木の販売」「屋外玄関横(暑い!)に花壇アオバナコーナーの設置」

これはほんの一例です。どのコーナーも人気抜群で多くの来場者を引き寄せました。従来には見られなかったメンバーの別の顔を表現してくれました。

1年が過ぎ、2年生がスタート。より専門性の高い内容の習得です。また、どんな顔が、どんな絆が見られるか楽しみです。

46期園芸学科B 学科長 杉本 正典

47期学生募集に関する活動報告

学生募集プロジェクトリーダー 小森 慶宣

まず初めに「第47期学生募集」へのご支援・ご協力に心よりお礼を申し上げます。

47期は定員(145名)を上回る174名の応募がありました。「陶芸学科」「健康づくり学科」は抽選となりましたが、「地域文化学科」は定員を5名増やして30名とし、抽選が回避されました。また、今年度は過去2年連続で抽選漏れになった3回目の応募者を優先して入学していただくことにしたほか、抽選で漏れた方に彦根キャンパスへの入学を案内し、学び意欲のある方の機会を無くす事を、極力減らす為の対策が取られました。今後も抽選に漏れた方が次年度の入学への意欲を維持できるような対策を提言していきたいと思ひます。

47期学生募集では「公開講座」「学科見学会」とも昨年より参加者が若干減少しましたが、それでも多くの方が参加され、レイカ大を実体験し、卒業生との「ぶっちゃけ座談会」で本音の話を聞くことは学生募集活動の大きな柱になっていると感じています。

最後になりますが、同窓会、えにしの会、卒業生、在学生及び事務局との連携をさらに深め、48期学生募集がより活発になるように活動したいと思ひます。

第15期 サポートの会スタート

第15期サポートの会代表 内藤 義之

大学の存続危機を機に先輩たちが立ち上げ、これまで引き継がれてきたサポートの会(以後、当会と記載)もいよいよ15期に入りました。しかし、今、当会の問題点・課題として、在学生の認知度が十分ではなく、当会主催の行事への参加や卒業後の自発的な当会への加入が限られているという現状があります。

在学生に当会の活動を周知し、興味を持っていただかないと、近い将来、当会の大学支援という使命が十分果たせなくなるのではないかと懸念しています。

そこで、今期の重点活動方針として「在学生にサポートの会の活動を知ってもらう!」とし、在学生・卒業生双方が自然に参加したくなる組織づくりを進めてまいります。この目的のための活動指針として次の三本柱を考えます。

①情報発信の強化 ②在学生との交流拡大 ③大学事務局との連携強化

また、本会がボランティア団体という背景を考えると本来楽しい場所であるべきで、下記観点で各活動を見直していきます。(効率化)ITなどを有効活用して業務の効率化を図る

(簡略化)しなくてもいいことは「しない!」

(負荷の分散化)特定の人、グループに負荷が集中しないようにする

以上を考慮した上で15期の基本方針は、「自分たち自身が楽しみながら活動する!」

皆様のご協力を何卒よろしくお願いいたします。

1 草津キャンパス応募状況

	定員	応募者	前年
園芸学科	50名	47名	50名
陶芸学科	25名	37名	28名
びわこ環境学科	25名	24名	32名
地域文化学科	25名	30名	49名
健康づくり学科	20名	36名	36名
合計	145名	174名	195名

2 草津キャンパス・公開講座参加者

実施日①	参加者	実施日②	参加者	合計	前年
6月20日	25名	7月11日	11名	36名	43名

3 草津キャンパス・学科見学会参加者

	実施日①	参加者	実施日②	参加者	実施日③	参加者	合計	前年計
園芸学科	5月19日	5名	6月4日	12名	7月14日	21名	38名	51名
陶芸学科	5月12日	8名	6月16日	6名	7月16日	10名	24名	21名
びわこ環境学科	5月2日	3名	6月18日	11名	7月2日	7名	21名	23名
地域文化学科	5月20日	4名	6月24日	22名	7月15日	7名	33名	34名
健康づくり学科	5月13日	9名	6月30日	21名	7月7日	12名	42名	30名
合計		29名		72名		57名	158名	159名

4 入学許可者結果

	定員	入学許可者数
園芸学科	50名	50名
陶芸学科	25名	25名
びわこ環境学科	25名	23名
地域文化学科	25名	30名
健康づくり学科	20名	24名
合計	145名	152名

【サポートの会の設立経緯】2009年、県財政難の為、本学は休校の危機に瀕しました。存続を求める要望が県に寄せられる中、OBや在学生が県に働きかけた結果、大学運営を支援する卒業生主体の組織を新たに作って協働運営する条件で大学の存続が決定されました(2010年)。それが現在の「サポートの会」の始まりです。

卒業生が大学事務局と協力して在学生を支援をする体制は、他のシニア大学にはないレイカディア大学の大きな特徴の一つとなっています。



サポートの会三役のみなさん(写真左から)

代表	内藤 義之さん(44期 地域文化)
総務代表	石津 栄子さん(44期 健康づくり)
学生募集リーダー	佐川 文明さん(44期 園芸B)
副代表	島田 洋子さん(45期 健康づくり)
総務副代表	米川 哲史さん(45期 健康づくり)
学生募集副リーダー	大橋 知典さん(45期 陶芸)

発行:滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス サポートの会

編集:草津キャンパス サポートの会 広報情報部会

〒525-0072 滋賀県草津市笠山 7丁目 8-138

県立長寿社会福祉センター内

TEL: 077-567-3901 FAX: 077-567-3906

<https://lacakusatsu.com/1-supportai/index.html>



編集後記:

ご入学・ご進級おめでとうございます。期待に胸躍らせておられることでしょう。この広報誌も本号より新体制(15期中心)での制作です。まだまだヒヨッコの編集員たちですが、仲間・先輩方のサポートで楽しい誌面を提供していきたいと思ひます。(T.M.)